

令和4年第9回瑞浪市教育委員会定例会会議録

(要点筆記)

日 時 令和4年8月25日(木) 13時30分開会

場 所 市役所 4階 全員協議会室

- 日程第1 前回の会議録の承認  
日程第2 本日の会議録署名委員の指名  
日程第3 教育長諸般の報告  
日程第4 議事

出席者

瑞浪市教育委員会

教育長	山 田 幸 男
1 番	羽 柴 誠
2 番	可 児 恵 太
3 番	柴 田 洋 子
4 番	鈴 木 圭 子

説明のため出席した事務局職員

事務局長	林 恵 治
事務局次長兼学校教育課長	滝 川 直 樹
教育総務課長	兼 松 美 昭
社会教育課長	奥 谷 ひとみ
スポーツ文化課長	水 野 義 康

職務のため出席した事務局職員

教育総務課長補佐兼総務係長	山 崎 美 和
教育総務課総務係	鈴 木 佑 佳

教育長

13時30分、本日の教育委員会定例会の開会を宣言する。

—市民憲章朗誦—

教育長

日程第1、前回の会議録の承認を行います。  
会議録は、1番 羽柴誠委員 と 2番 可児恵太委員 を会議録署名委員に指名しております。  
承認の署名をお願いします。

—会議録承認署名—

教育長

日程第2、本日の会議録署名委員の指名を行います。  
本日の会議録署名委員は、教育長において、3番 柴田洋子委員 と 4番 鈴木圭子委員 の2名を指名します。

教育長

日程第3、教育長諸般の報告に移ります。  
はじめにコロナウイルス感染症の状況について報告させていただきます。第7波のピークアウトがなかなか見えない状況の中で、市内の小中学校の陽性者の数が非常に増えています。夏休みに入りました7月21日以降昨日までの陽性者数は、小学生150名、中学生39名、合計189名の児童生徒が感染しています。小学生は全児童の8.7%、中学生は全生徒の4.8%の児童生徒にあたります。小学生は中学生の倍の割合で感染しておりますが、原因ははっきりしませんが、1つはワクチンの関係もあるかと思えます。教職員につきましては、10名が感染をしています。生徒児童、教職員共に重篤な症状はなく、一定の期間を経て回復しています。今、心配していることは、29日から第2学期がはじまりますが、2学期の学校生活にはじめからスタートできない児童生徒や職員がでてくることです。今、把握している数で児童生徒20名程、教職員1名が始業式に欠席になると予測していますが、未報告も含めるともう少し多くなると思えます。

2学期からのコロナ対応についてはこれまでと大きく変わることはありません。児童生徒教職員の中で陽性者が1名判明した時点で、一時的に学級を閉じます。そして、学校が接触者を洗い出し、濃厚接触者にあたる児童生徒に自宅待機を要請します。その後、感染の状況を見ながら学級閉鎖の継続あるいは解除を決定します。陽性判明者、有症状者、自宅待機者および待機要請者合わせて学級の児童生徒数の20%を超えた場合には学級閉鎖を継続することになります。基本的には学校教育活動は閉じない方針です。これまでも家庭内感染がほとんどで、学校は閉じずにいけると思っていますが、もし、学級閉鎖になった場合には、授業にオンラインの活用や合同授業をしての対応を考えています。今週の月曜日の校長会で2学期の対応について、その時点での確認をしましたが、一昨日新たに県の会議がありましたので、大きな変更はありませんが、改めて校長へ教育委員会から指示を出して共通認識を持って対応したいと思えます。

瑞浪北中学校の視察が相次いでいます。8月1日に県議会の厚生環境委員の視察がありましたが、その他にも神奈川県厚木市市議会議員、埼玉県朝霞市市議会議員、東京都大田区区議会議員、今後の東京都武蔵野市市議会議員など議会関係の視察が続いています。それぞれの視察目的は、環境教育やエネルギー対策ということで北中学校のゼロエネルギー化について視察にみえるわけですが、学校のみならず市の公共施設の見直しを図っていく中の学校という位置づけで、単なる学校だけでなく公共施設のあり方の視点で視察におみえになるところが多いです。大田区の区議会議員の視察は、ハード面だけではなく、環境教育をいかに進めているかというソフト面でのご質問もあったと聞いています。

中体連の全国大会が今進められていますが、8月3日に東海大会へ出場する中

学生の激励会を行いました。柔道、陸上、相撲で27名が出席しました。8月8日には、中体連全国大会へ行く柔道、陸上、相撲の11名と全日本全国軟式野球クラブチーム選抜大会出場者の激励会を行いました。例年に比べて今年は東海、全国に行く子ども達が沢山いたと思います。特に、柔道は瑞浪中学校の柔道が県で団体優勝しましたし、相撲で麗澤瑞浪の生徒が、全国で3回戦まで行っていましたので、すごいと思いました。

8月5日に第1回学区制審議会を実施しました。委員24名委嘱し、1名欠席し、23名出席で予定通り開催できました。第1回目ということで、児童生徒数の今後の動向、学区制審議会設置の主旨等についての説明を中心として進めました。この中で、統合を前提としないということを引きちと理解していただくということに気を付けました。統合ありきではなく、広く今後の学区のあり方を審議していくということでご理解をお願いしました。第2回目は、11月17日に予定されていますが、それまでに各地区の区長会、PTA、保護者会、青年会議所等で説明会を行い、意見をお聴きする予定です。9月1日の陶地区区長会から順に実施していきます。幼稚園、小学校、中学校の保護者にスマホで回答できるようなアンケートを実施する予定です。部活動、クラブ等の加入実態調査も合わせて行います。かなりの説明会の数とアンケートになります。丁寧な説明をして、情報を広げながら、2回目の審議会の資料を作りたいと思っています。

8月22日に教育支援委員会を実施しました。これは各幼稚園、小学校、中学校に在籍する障害を持っている子ども達の適正な就学について審議をする会議です。具体的には特別支援学校や特別支援学級、通級指導教室等に該当するかどうかを学校からの説明を聞きながら、医師を含めた専門的な見地から、その子に一番合った場所は何処かということ審議しました。特別支援学級や通級指導等に在籍する児童生徒が増えてきています。特別支援学級でいうと、本年度小中学校で知的に52名入っており、令和元年度と比べて8名増えています。自閉情緒は32名で昨年の13名増、肢体不自由児は変わらず4名です。子ども達の数が増えているのに対して学級数は増えていないという実態があります。例えば知的は8名増えています。学級増は1学級、自閉情緒は13名も増えているのに学級は増えていない状況です。言い換えると一つの学級に在籍する児童や生徒の数がそれだけ沢山になっています。一番多いところは1学級に8名在籍しているところがあり、7名のところもありますし、中学校では5名のところがあります。各学校や学級担任の負担という言い方が適切かどうか分かりませんが、教職員の負担が増えています。瑞浪市教育委員会としては、本人や保護者の丁寧な実態把握をして必要あるいは希望する児童生徒がそうした学級に入れるように子どもに寄り添った努力をしていきたいと思っています。教育支援委員会の結果を受けて県教委の方へ特別支援学級や教育指導教室の開設について協議をして、多くの学級が認められるように頑張りたいと思っています。

以上、教育長諸般の報告とします。

教育長

それでは、日程第4 議事に移ります。

「議第26号 令和4年度瑞浪市教育費にかかる一般会計補正予算（第6号）について」を議題とします。

本案について、事務局に説明を求めます。

各課長

---提案説明---

教育長

ただいま提案説明がありましたが、本議案について、質疑はありませんか。

各委員

---質疑なし---

教育長

質疑がないようですので、質疑を終結し、採決を行います。  
本議案について、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

各委員

---異議なし---

教育長

異議なしと認めます。よって「議第 26 号」は、原案のとおり可決されました。

教育長

以上で本定例会に提出された議案の審議が終わり、本日の日程が終了いたしました。  
これをもって令和 4 年第 9 回瑞浪市教育委員会定例会を閉会します。

13 時 55 分 終了